

ご 挨拶

このたび、福岡歯科大学成育小児歯科学分野が主催して第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を開催することになりました。現代は少子高齢化の時代を迎え、国の宝である子ども達の口腔と全身の健康を守る上で、私たち小児歯科医師が地域医療に果たす役割は非常に重要になってきています。地域包括ケアシステムを支える私たちとしては、色々な職種との連携が小児歯科のスキルを上げるためには必要であると考えています。そこで本学会は、“多職種連携における小児歯科の役割”をメインテーマに小児歯科との連携が必要な分野から講演を頂くことにしました。

特別講演には、九州大学小児外科の田口智章教授に「小児医療センターにおける小児歯科と多職種連携および乳歯歯髄幹細胞の魅力」と題するご講演をして頂きます。また、本年度で退官される九州大学小児歯科の野中和明教授には「小児歯科・スペシャルニーズ歯科での私達の臨床・トランスレーショナル研究」と題するご講演を頂き、花を添えていただきます。そのほかにも教育講演には言語療法の専門家である大阪大学歯学部附属病院顎口腔機能治療部の杉山千尋先生に言語訓練の実際についてお教えいただきます。

シンポジウムでは埋伏歯症例を中心に、本分野の岡 暁子准教授、鹿児島でご開業の石谷徳人先生、および福岡歯科大学矯正歯科学の玉置幸雄教授にご登壇頂き、色々な角度から保険導入が検討されている埋伏歯治療でのポイントをお聞きしたいと考えています。衛生士セミナーでは、銀座コーチングスクール福岡校代表の江口正勝先生をお招きし、「患者さんのパフォーマンスを起こすコミュニケーション-コーチングの応用-」と題して患者やメディカルスタッフとのコミュニケーションのポイントをお話しして頂きます。

このように、歯科医師、歯科衛生士の皆様が一緒に参加出来る学会を目指しましたので、ご参加を心よりお待ちしております。なお、昨年と同様に託児施設も併設されますので、ご活用ください。運営スタッフ一同、皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会

大会長 尾崎 正雄